

令和２年第４回幸手市議会定例会 市政に対する一般質問通告書（通告順）

発言 順位	議席 番号	氏 名	質 問 事 項	質 問 要 旨
1	1	四 本 奈 緒 美	1 令和２年度の乳がん検診、子宮がん検診について 2 令和元年東日本台風（台風１９号）の課題を踏まえたタイムライン（防災行動計画）の作成について	（１）新型コロナウイルス感染予防対策を行いながらの、今年度の乳がん検診、子宮がん検診の実施方法について伺う。 （２）今年度の乳がん検診・子宮がん検診の受診対象者数を伺う。 （３）乳がん検診、子宮がん検診の月別の受診済数と昨年比を伺う。 （集団検診、個別検診それぞれについて） （４）今後の集団検診の受診予約状況について伺う。 （５）今年度受診をしなかった場合、次の検診まで４年間空いてしまうことになる。未受診の方を来年度も受診出来る対応をすべきと考えるがいかがかを伺う。 （６）乳がん検診、子宮がん検診の受診率向上の取り組みについて伺う。 （１）令和元年東日本台風の市の課題の総括として、「災害時の職員内での情報や考え方が共有されていなかった。共通の理解がなかった。」とある。台風より１年２か月。この課題の解決への具体的な取り組みを伺う。 （２）タイムラインとは何か、幸手市タイムラインが必要と考えるがいかがかを伺う。

			3 幸手市の内水被害対策について	(3) 自助・共助の視点からの市民のマイタイムライン、自治会や自主防災組織のコミュニティ・タイムラインの作成について市の考えを伺う。 (4) タイムラインの作成も含めた利根川氾濫を想定した水害対策への考えを木村市長に伺う。 (1) 本年9月4日の大雨の状況と水害の原因を伺う。 (2) 学校の校庭を活用した雨水貯留浸透施設の現状について伺う。 (3) 雨水貯留槽、浄化槽転用雨水貯留槽の設置の現状について伺う。 (4) 田んぼダムの有効性と設置について伺う。 (5) 大雨・ゲリラ豪雨による内水被害に市民の不安が高まっている。 国は7月に、気候変動のスピードに対応した新たな水害対策として「流域治水」の考えを示し、水があふれることを前提に流域の雨水の貯留機能を高めることも重視した。幸手市が今出来る対策について伺う。
2	2	坂 本 達 夫	1 洪水対策について	(1) ハザードマップについて伺う。 (2) 新たな避難方法について伺う。 (3) 洪水発生メカニズムについて副市長に伺う。 (4) 中落悪水路の水を葛西用水路へ放水することについて伺う。

			2 幸手駅西口のにぎわいについて 3 荒宿交差点、市役所入口交差点について 4 防災無線について	(1) 商業施設ができない理由について伺う。 (2) コンビニができる見通しについて伺う。 (3) 駐輪場について伺う。 (4) 西口停車場線の進捗について伺う。 (5) 久喜新道を横断するための信号機について伺う。 (1) 荒宿交差点、渋滞解消について副市長に伺う。 (2) 幸手市役所入口交差点の右折解除について副市長に伺う。 (1) 防災無線「家に帰りましょう」という放送について、子どもたちの声で放送したらいかがか伺う。
3	7	本 田 謡 子	1 コロナ禍の市内公共施設使用について 2 幸手市と幸手市教育委員会の「後援」申請について	(1) 現在、市内公共施設使用については、収容人数の制限がなされているが、その根拠を伺う。 (2) 今後の対応を伺う。 (1) 幸手市と幸手市教育委員会の「後援」の違いについて伺う。 (2) 「後援」の申請において、政治色のあるなしの判断とそれぞれの見解を伺う。

			3 防犯から見た公園管理について 4 幸手駅のトイレについて	(1) 指定管理となっている公園において、市と指定管理者との間で、防犯についての取り決めがあるのか、あればその内容を伺う。 (2) 民家から離れている公園の夜間の防犯対策と現状を伺う。 (1) 未だ見えてこない幸手駅トイレ（構外）の設置について、進捗状況とこれからを伺う。
4	1 2	藤 沼 貢	1 令和3年度当初予算の編成について	(1) 令和3年度当初予算における編成方針について市長に伺う。 (2) 地方財政に対する国の動向について伺う。 (3) 現在の進捗状況について伺う。
5	9	小 林 啓 子	1 幸手市職員のハラスメント防止対策について	ハラスメント行為とは、働く人々の人格や尊厳を傷つけることを言い、職務上の地位や人間関係を乱用して意図的に行う行為を言う。そのストレスからうつ病等の精神疾患を招来し休退職につながる場合がある。 (1) 幸手市においては、職員に対して実態把握はしているのかを伺う。 (2) 職員に対しての教育は行っているのかを伺う。 (3) どのようなルールを決めているのかを伺う。 (4) どのような周知をしているのかを伺う。 (5) ハラスメントに対しての認識を市長に伺う。

			2 結婚新生活支援事業について 3 幸手市における「家族の日」制定について	政府は少子化対策の柱の一つに位置付け、来年度から補助上限額を現行の30万円から60万円に倍増させる方針を固めた。 (1) 幸手市における、結婚新生活支援事業の経緯を伺う。 (2) 今後の取り組みについて伺う。 内閣府は2007年度から、11月の第3日曜日を「家族の日」としている。 (1) 自治体によっては独自に「家庭の日」等を設けているところもあるが幸手市の現状を伺う。 (2) 幸手市としては国に合わせて制定をしたらどうかを伺う。
6	4	小林 英雄	1 人口減少について 2 権現堂公園管理事務所（権現堂公園の指定管理者）について 3 桜まつりについて	(1) 人口の推移について伺う。(男・女・年齢別) ・世帯数の推移・地区別人口の増減について伺う。 (2005年からおおむね5年スパン) *資料を請求 (2) 人口減少の対策としてどのような事を行っているのか、また、これからどのような対策を考えているか伺う。 (1) 今年度で幸手市とNPO法人幸手権現堂桜堤保存会とで行っていた5年間の権現堂公園の指定管理が終了するが、来年度以降の指定管理者について、市の考えを伺う。 (1) 今年の桜まつりはコロナ感染症の為、急遽中止となったが来年の桜まつりについて市の考えを伺う。

			4 集会施設（中央・東・西・南・北公民館）について	（2）今年中止となった桜まつりの、ポスター等の経費の金額、内容について伺う。 （1）各公民館の利用者数・維持管理費について伺う。（過去5年間） *資料を請求
7	1 3	青 木 章	1 人口減少対策について 2 子育て支援事業等について 3 幸手市の魅力向上について	（1）幸手市人口の推移について。 ・過去5年分の推移 ・令和2年度中の推移 （2）人口を増やすための対策について市長に伺う。 （1）幸手市の子育てをどのように考えているか市長に伺う。 （2）子育て支援事業の主なものを伺う。 （3）特別定額給付金の支払い状況について。 （4）幸手市新生児特別定額給付金支給事業の現状について。 （1）幸手市の魅力向上の施策について市長に伺う。 （2）シティプロモーション課を廃止した理由について市長に伺う。 （3）シティプロモーション課での事業をどの課が担当しているのか。 （4）権現堂公園の更なる有効利用について伺う。

8	10	松田雅代	1 市主催事業に係る新型コロナウイルス感染防止対策の基準見直しについて 2 公共施設アセットマネジメントの専担体制について 3 安全な市内道路の整備について	(1) 基準見直しによる市主催事業開催、その他市事業への影響を伺う。 (2) 新基準の適用対象となるイベント主催者への周知の方法を伺う。 (3) 会場や施設のリスク評価、主催者向けのイベント開催・実施時の感染防止策チェックリストの整理、とりまとめはどのように実施されているか伺う。 (1) 専担部署を創設する目的を伺う。 (2) 専担部署の所掌、権限、建築技術職の配置、人材養成の構想を伺う。 (3) 公共施設に係る固定資産台帳、公有財産台帳、各施設の劣化度調査データなどの一元管理、データ共有化の構想、必要性を伺う。 (4) 庁内同意に向けた手続きとして、庁内全課からの代表者と専担部署の合同検討会等の仕組みが必要と考えるが市の考えを伺う。 (1) 道路と側溝の間の溝・段差、道路劣化に伴う縦亀裂は自転車の車輪をとられるなど危険性が高い。第6次総合振興計画の成果目標「計画的な舗装修繕の実施」年間100メートルで問題箇所への計画的な舗装修繕をどう進めるか。市の考え方を改めて伺う。 (2) 国道・県道・市道を問わず、道路に塗布された交通標識のうすれが散見される。認知している問題箇所に対してどれくらい対応できているのか。交通安全対策推進の一環として実施率を上げる必要があるのではないか。市の考えを伺う。
---	----	------	---	---

			4 幸手駅東西自由通路の資産活用について	(1) 東西自由通路の年間活用計画を伺う。 (2) 災害時活用の幸手市防災計画への位置づけを伺う。
9	15	大 平 泰 二	1 駅西口土地区画整理について 2 保育ステーションについて 3 市民要望に対する市の回答について	(1) 事業認可後から令和 2 年まで事業費（人件費、土地開発公社からの買戻し）の合計について伺います。また財源内訳も伺います。 (2) 事業認可後から令和 2 年までの下水道事業費・水道事業費・電気事業費について伺います。 (3) 今後の事業費と最終年度、また各年度の事業費とその財源内訳についても伺います。 (4) 凍結を含む今後の事業の見直しについて市長に伺います。 (5) 移転費用の支払い明細について伺います。 (1) 保育ステーションの駅東口階段下建設場所選定の経緯について。 (2) 平成 30 年度当初予算 3 月保育ステーション建設工事実施設計業務委託料 278 万 7 千円。平成 30 年度 12 月議会 4 号で補正保育ステーション建設工事実施設計業務委託料補正追加 122 万 8 千円としている。追加の根拠を伺います。（資料として設置関係位置図、正面図、平面図、側面図提出願います） (1) 川崎地区から中 5 丁目を繋ぐ市道 533 号の拡幅について伺います。

			4 第8期介護保険事業計画について	(2) 土地改良区から提出された排水業務移管について伺います。 (3) 新型コロナ感染症対策と検査体制の強化について伺います。 (4) 幸手本署に配備されているポンプ車1台を西分署に配置する案について市長に伺います。 (1) 第7期の事業計画の基金残高を含む事業総括について伺います。 (2) 地域包括支援センターを民営化した経緯と公設・民営の比較について伺います。 (3) 幸手市の介護離職者数とその中に占める生産労働者数について伺います。 (4) 介護離職者ゼロに向けた基盤整備計画について伺います。 (5) 高齢者の移動手段について伺います。
10	11	木村治夫	1 幸手中央地区産業団地整備事業について伺う	(1) 未操業6社の進出、また、操業開始の進捗状況について伺う。 (2) 現在の地元雇用人数とこれからの地元雇用者の見通しについて伺う。 (3) 現在の税収状況（固定資産税・法人税）と令和3年度の税収見込みの推移について伺う。

			2 今年度コロナ禍の状況で市主催・共催事業が中止、また延期されているが、令和3年度新型コロナウイルス感染症防止対応策を講じつつ各事業実施について	(4) 既存の工業用地を維持しながら、新たな工業用地、また、工業団地の確保について市長に伺う。 (1) 特に市民に影響が大きい観光、産業、文化振興の各事業の実施の考え方について伺う。 (2) コロナウイルスという見えない敵に知恵と工夫を出し合って闘うとき、市長の見解を伺う。
1 1	3	海 老 沼 隆 夫	1 子育て支援、教育機関について 2 水害対策について	(1) 市長が選挙公約に掲げた吉田幼稚園の存続問題。吉田幼稚園は広い園庭と自然に囲まれた環境にあります。 吉田幼稚園は公約通り存続していただけるのかを、市長に伺います。 (2) 市長発言の中で、小中一貫とかの話もありましたが、地域住民・市民の理解を得られるならば、幼少一貫も考えられると思いますが、どのようなお考えかを市長に伺います。 (3) 小・中学校についても、送迎バスと循環バスの活用などにより、統合計画が有るのかを伺います。 (4) 前市長迄の市政運営等により財政困難な下ですが、子育て支援日本一を掲げてきた幸手市において、今後の子育て支援について、市長はどのようなお考えかを伺います。 (1) 9月議会でも質問させて頂き答弁も頂きましたが、市民からの声を伺う中で、水害の原因に直接つながるような排水溝の汚泥の処理は、何か所位進んだのか伺います。

			3 幸手団地の高齢化対策他について	(2) 汚泥の堆積は確認できたが、当面直接水害には結びつかないと判断され、処理計画を後回しにされる場所は、何か所位確認されているか伺います。 (3) 東2丁目の東さくら通り付近や、緑台2丁目の図書館付近の水害対策が繰り返し講じられてきましたが、緑台1丁目の東端の地域や天神保育園近隣の床下浸水被害も聞きます。こちらの対策はどのように対策を講じられて来たのか、また講じていくのかを伺います。 (4) この地域では新たな宅地化が進んでおり、土砂を投入してのかさ上げが盛んに行われていますが、既に住民の暮らしている住宅地への水害対策には、県の計画との確認と進捗状況も含めて、今後どのような計画かを伺います。 (1) 栄地区・幸手団地が建築されて50年近くが経ちます。私が幸手団地に入居してから40年近くが経ちました。当時約3,000世帯で10,000人近くの住民が暮らし、働き盛りの勤労者の多くが首都圏まで働きに出て得た収入で、市税を納め続けて来ました。現在では高齢者も多く幸手団地住民の市税納入は、減少していると思われるが、どのような所見をお持ちか伺います。 (2) 住民の高齢化と子や孫の転出などにより、団地住民の減少・約2,400世帯が進んでいます。平均年齢も約75歳になり、多くの住民が年金のみの収入です。収入の半分又は半分近くを家賃で失い、日々の暮らしを必死で送っています。そんな中で、団地自治会は家賃の値下げ交渉を、全国公団住宅自治会協議会とも力を合せ、UR都市機構にも国にも申し入れを、繰り返し取り組んでいます。日頃から幾多の支援を頂いていますが、幸手市としても意見書の提
--	--	--	--------------------------	---

				出などの支援をお願いしたいですが、市の前向きなお考えをお聞かせください。 (3) 幸手団地は、8階建ての1棟を除いては、5階建ての階段のみ昇降です。高齢化により、階段の上り下りに日々苦しんでおります。幸手団地住民の生活において、エレベーターの設置は欠かせないものとなっています。全国公団住宅自治会協議会とも力を合せ、UR都市機構にも国にもエレベーターの設置の申し入れを、繰り返し取り組んでいます。幸手市としても意見書の提出などの支援をお願いしたいですが、市の前向きなお考えをお聞かせください。
1 2	5	枝久保喜八郎	1 太陽光発電設置状況について 2 小中学校教育現場の現状について 3 防災対策について	(1) 太陽光発電に利用されるとして農地転用された件数(過去5年間)について伺う。 (2) その農地から転用された土地の面積(過去5年間)について伺う。 (1) コロナ対策でICT教育を活用した効果と現在の状況について伺う。 (2) ICT教育を進める上での問題点は何か。またその解決策について伺う。 (3) 児童生徒のSNS所有実態について伺う。 (1) 災害時緊急避難施設としての協定交渉の現状について伺う。 (2) 国土強靱化地域計画の策定について専門家としての副市長に伺う。

1 3	1 4	武 藤 寿 男	1 幸手市新型インフルエンザ等対策行動計画と新型コロナウイルス感染症に対するこれまでの市の対応について (1) 対策行動計画の策定された目的について伺う。 (2) 行動計画での感染症対策の目的と基本的な方針について伺う。 (3) 行動計画での対策実施上の留意すべき点について伺う。 (4) 行動計画での市の役割、一般事業者の役割、市民の役割について伺う。 (5) 今回の新型コロナウイルス感染症対策推進会議は設置されたか、また、会議の内容について伺う。更に医学、公衆衛生等の専門家から意見を聞かれたのか伺う。 (6) 対策本部の設置と会議内容について伺う。 (7) 庁内各部、各班の役割が規定されているが、実際の活動内容について伺う。 (8) 要援護者への対応は、どのようにされたのか伺う。 (9) 今後のワクチンに対する取り組みについて伺う。 (10) 今後の感染拡大防止と市民経済対策に対する所見を伺う。 2 市職員の人事異動について (1) 市の職員の人事異動の基本的考え方について伺う。 (2) 職員の同職在籍年数別の職員構成数と異動年数別職員数について伺う。
-----	-----	---------	--

				(3) 専門職としての資格等を要する職種と人数について伺う。 (4) 課長、部長等の幹部職員の養成についての考えを伺う。 (5) 適材適所人事に対する所見を伺う。 (2)(3)については資料の提出をお願いいたします。(過去3年間)
--	--	--	--	---